

平成20年度荒川区予算案の概要【補足資料】

## 予算の主要事業説明

平成20年2月1日

荒 川 区

## 平成20年度当初予算の主要事業説明一覧

ページ	分野	事業名	予算額	所管部
1	生涯健康都市	あらかわNO!(ノー)メタボ大作戦事業	1,837万円	健康部
2		法人立特別養護老人ホーム誘致事業	500万円	福祉部
3		障害者雇用支援事業(特例子会社誘致等)	2億 213万円	福祉部
4		障がい者施設誘致等整備事業	3億3,212万円	福祉部
5	子育て教育都市	妊婦健康診査公費負担事業	1億1,244万円	健康部
6		新生児全員訪問事業	874万円	健康部
7		(仮称)あらかわキッズコール24	268万円	子育て支援部
8		子育て支援情報提供事業((仮称)あらかわ区報キッズ等)	1,612万円	子育て支援部
9		第3子以降保育料無料化	4,899万円	子育て支援部
10		学校パワーアップ事業	7,241万円	教育委員会事務局
11		算数・数学大好き推進事業	2,076万円	教育委員会事務局
12		幼児教育推進事業	1億4,027万円	教育委員会事務局
13		録音図書デジタル化推進事業	281万円	教育委員会事務局
14	産業革新都市	経営革新等支援事業	3,343万円	産業経済部
15		モノづくりクラスター形成促進事業	2,264万円	産業経済部
16		商店街ルネッサンス推進事業	3,503万円	産業経済部
17		公衆浴場ガス化対策設備改善補助事業	875万円	産業経済部
18		消費者相談事業(弁護士による多重債務者相談等)	661万円	産業経済部
19		産業観光推進事業	956万円	産業経済部
20		都電沿線ウォークラリーの開催	83万円	産業経済部
21	環境先進都市	環境交通政策推進事業	1,334万円	環境清掃部
22		(仮称)エコセンター建設	2億1,978万円	環境清掃部
23		街なかぴかぴかトイレ	1億3,124万円	土木部
24	文化創造都市	(仮称)吉村昭記念文学館の設置	1,986万円	教育委員会事務局
25		地域コミュニティ活性化の支援	2,187万円	区民生活部
26	安全安心都市	スクール安全ステーション	2,716万円	教育委員会事務局
27		木造住宅耐震化推進事業	6,045万円	都市整備部
28		コミュニティバス路線拡大事業	4,330万円	都市整備部

## 平成20年度当初予算の主要事業

事業名 あらかわNO!(ノー)メタボ大作戦事業<新規>

予算額 1,837万円

### 【PRポイント】

早世の減少を図るため、がん予防・健康づくりセンターに「メタボ情報提供コーナー」を設置し、メタボリック症候群に関する測定・相談、サポートメニューの提供を行います。

区内の健康づくり情報・資源を網羅した「あらかわ健康づくりガイドブック」を作成します。

この大作戦を広く区民にPRするため、60歳未満の成人を対象とした「NO!メタボチャレンジャー」を募集し、チャレンジの経過を公表します。

### 【目的・内容】

早世の予防を図るため、青壮年期の区民を対象に、食生活、運動、飲酒、喫煙などの生活習慣改善について働きかけ、メタボリック症候群を予防します。

### 【効果】

区民の食生活、運動、飲酒、喫煙などの生活習慣が改善されることで、生活習慣病を予防し、QOL(生活の質)の向上が期待できます。

区民自らが取り組めるメタボリック症候群の予防法を提案することで、個人及び地域における健康づくり活動の推進が期待できます。

青壮年を対象とした事業を展開することで、20年度から始まる特定健診・特定保健指導との相乗効果が期待できます。

【問合せ先】 健康部 健康推進課長 伊津野孝 内線 429

## 平成20年度当初予算の主要事業

事業名 法人立特別養護老人ホーム誘致事業<新規>

予算額 500万円

### 【PRポイント】

特別養護老人ホームを建設・運営する社会福祉法人を誘致します。

特別養護老人ホームの建設用地として、区有地(現荒川区リサイクルセンター用地)を活用します。

### 【目的・内容】

特別養護老人ホームの入所待機者の減少等を図るため、区有地(現荒川区リサイクルセンター用地)に、特別養護老人ホームを建設・運営する社会福祉法人を誘致し、区内で6ヶ所目となる特別養護老人ホームを整備します。

20年度は、基本仕様調査等を実施し、社会福祉法人を公募します。

### 【効果】

特別養護老人ホームの入所待機者の減少を図ることができます。

高齢者が住み慣れた地域で生活を送ることができます。

社会福祉法人が運営する特別養護老人ホームを誘致することにより、民間活力を活用することができます。

【問合せ先】 福祉部 福祉高齢者課長 黒川 重夫 内線 2610

## 平成20年度当初予算の主要事業

事業名 障害者雇用支援事業(特例子会社誘致等)

予算額 2億 213万円

### 【PRポイント】

特例子会社を区内に誘致します。

障がい者の就労を障がい者と企業の両面からサポートします。

### 【目的・内容】

障がい者雇用に有効である特例子会社を設立しようとしている企業に対し、障がい者雇用に向けた支援を行い、特例子会社を誘致します。

また、障がい者雇用に積極的な区内企業に対しては環境整備等の支援を行い、さらなる障がい者雇用の促進を図ります。

### 【効果】

障がい者雇用に有効である特例子会社を区内に誘致し、区内の障がい者の就労場所を確保します。

(場所:旧西日暮里ひろば館の一部、21年4月から貸与予定)

企業に対して支援を行うことにより、障がい者の継続的な雇用を促進します。

特例子会社とは...

障がい者の雇用に特別に配慮した事業所等を子会社として設立し、障がい者の雇用のために特別の配慮をしていると公共職業安定所長から認定を受けた場合に、この子会社を親会社の障がい者雇用率等に適用する制度を受けた事業所です。

【問合せ先】 福祉部 障害者福祉課長 小林 清美 内線 2680

## 平成20年度当初予算の主要事業

事業名 障がい者施設誘致等整備事業<新規>

予算額 3億3,212万円

### 【PRポイント】

障がい者の地域生活の拠点となる施設を誘致します。

提案評価型による事業者選定により、民間活力の有効活用及び区民意見の反映を図ります。

### 【目的・内容】

新たに取得する用地(ハイツ尾竹跡地)に、障がい者の生活場所や日中活動場所となる障がい者施設を建設・運営する法人を公募により誘致し、障がい者の地域生活の支援を行います。

### 【効果】

日中活動場所となる施設と、生活場所となる施設を一体として整備し、障がい者の地域生活の拠点とします。

日中活動場所 ... 生活介護、就労移行支援、就労継続支援等施設  
生活場所 ... 施設入所支援施設、グループホーム・ケアホーム

建設・運営事業者を公募することで、民間活力を活用します。

用地取得 : 「ハイツ尾竹(母子生活支援施設)」跡地  
国有地 735.9㎡ 荒川区町屋6丁目

【問合せ先】 福祉部 障害者福祉課長 小林 清美 内線 2680

## 平成20年度当初予算の主要事業

事業名 妊婦健康診査公費負担事業

予算額 1億1,244万円

### 【PRポイント】

安心して子どもを産める環境を整えるため、都内医療機関での妊婦健康診査の公費負担を14回に拡大します。

都外へ里帰り出産した場合の妊婦健診への助成を開始します。

### 【目的・内容】

少子化対策や流・早産等の予防、母体及び胎児の健康確保を図るため、都内医療機関で受診する妊婦健康診査の公費負担を2回から14回に拡大します。また、都外の実家で里帰り出産した場合に対しても、同様の助成を行います。

### 【効果】

妊婦健康診査の受診率の増加につながり、母体や胎児の健康確保を図ります。

妊娠・出産にかかる経済的不安が軽減され、少子化の解消につながります。

里帰りした区民も、より安心して出産できるようにします。

【問合せ先】 健康部 健康推進課長 伊津野孝 内線 429

## 平成20年度当初予算の主要事業

事業名 新生児全員訪問事業

予算額 874万円

### 【PRポイント】

19年度に開始した保健師、助産師による第一子全数訪問を拡大し、第二子以降の新生児についても全員訪問を行います。

育児に関する情報提供を行い、育児不安の解消のお手伝いをします。

必要に応じて継続訪問、育児事業の紹介を行うなどのお手伝いをします。

### 【目的・内容】

育児不安、産後うつ傾向の早期発見と子育て支援の強化を図るため、保健師、助産師による全ての新生児訪問を実施します。

### 【効果】

自信を持って育児に取り組める環境を整えることができます。

新生児期の育児不安について早期に支援を行い、解決を図ることができます。

新生児を持つすべての家庭に対し、適切な時期に適切な育児支援サービスの提供ができます。

【問合せ先】 健康部 健康推進課長 伊津野孝 内線 429



## 平成20年度当初予算の主要事業

事業名 (仮称)あらかわキッズコール24 <新規>

予算額 268万円

### 【PRポイント】

子育て電話相談「(仮称)あらかわキッズコール24」を開設します。

妊娠や出産・育児に関する心配事をサポートします。

24時間・365日、相談が受けられます。

### 【目的・内容】

24時間・365日電話により、妊娠から出産・育児に関する子育て全般について専門家の相談を無料で受けられる「(仮称)あらかわキッズコール24」を委託により、開設します。

### 【効果】

夜間・休日に、身近な相談が受けられ、育児不安の解消につながります。

(名称)

荒川区子育て支援コールセンター  
「(仮称)あらかわキッズコール24」

(コール対応者)

保健師、看護師、管理栄養士、育児カウンセラー等

(相談内容例)

- ・発熱、下痢、ケガについて
- ・予防接種について
- ・離乳食について
- ・感染症について

【問合せ先】 子育て支援部 計画課長 濱島明光 内線 3810

## 平成20年度当初予算の主要事業

事業名 子育て支援情報提供事業((仮称)あらかわ区報キッズ等)

予算額 1,612万円

### 【PRポイント】

情報誌「(仮称)あらかわ区報キッズ」を年4回発行します。

子育て支援専用のホームページを開設します。

○ 子育て支援情報を充実させます。

### 【目的・内容】

今までの子育てマップ、キッズニュース等の子育て支援情報に加え、新たに区報Jr. の子育て世代版として区報キッズを発行し、子育て世代に対する情報提供を実施します。

また、子育て支援専用のホームページを開設し、紙媒体で提供できないリアルタイム情報や子育て支援の総合的な情報を提供します。

### 【効果】

既存の媒体では、十分に伝えきれない子育て支援情報を的確に伝えます。

「知らなくて利用できなかった。知っていたが、わかりにくかった」との区民の声を最小限にします。

「(仮称)あらかわ区報キッズ」:各回30,000部発行  
幼稚園、保育園等の子育て関連施設を通じて配付予定

【問合せ先】 子育て支援部 計画課長 濱島明光 内線 3810

## 平成20年度当初予算の主要事業

事業名 第3子以降保育料無料化<新規>

予算額 4,899万円

### 【PRポイント】

多子家庭の経済的負担を軽減するため、第3子以降(3歳未満)のお子さんの保育料を無料にします。

認証保育所、家庭福祉員(保育ママ)に預けても経済的負担が軽減されます。

### 【目的・内容】

子育て(多子)家庭の経済的負担を軽減し、少子化対策に資するため、18歳未満の児童を3人以上養育している世帯に対し、3人目以降の3歳未満児の保育料を無料にします。

### 【効果】

対象および軽減額

認可保育園	137人	36,869千円
(1人あたりの軽減額 年間 269千円)		
認証保育所	20人	9,657千円
(1人あたりの軽減額 年間 482千円)		
家庭福祉員(保育ママ)	9人	2,460千円
(1人あたりの軽減額 年間 273千円)		

3歳児未満の認証保育所、家庭福祉員(保育ママ)の利用促進により、待機児の解消が期待できます。

【問合せ先】 子育て支援部 保育課長 石澤 宏 内線 3820

## 平成20年度当初予算の主要事業

事業名 学校パワーアップ事業<新規>

予算額 7,241万円

### 【PRポイント】

平成19年3月に荒川区学校教育ビジョンー「教育の荒川区」宣言！ーを策定しました。

学校教育ビジョンに基づき、「学力向上マニフェスト」を策定・公表するとともに、校長の予算執行上の裁量権を拡大し、各学校の教育活動をより充実・活性化させます。

### 【目的・内容】

確かな学力の定着・向上を図るための学校の取り組みを各校が「学力向上マニフェスト」としてまとめ、保護者・区民に明らかにするとともにその結果を公表します。

また、学校教育ビジョンに掲げる心の教育、健康や体力づくり、地域社会と一体となった教育を推進するなど、各学校の特色ある教育活動をより充実・活性化させるため、校長の予算執行上の権限を拡大し、各校の創意工夫にあふれる教育活動を支援します。

### 【効果】

学力向上マニフェストを公表して、各学校が責任をもって学力向上策を実行し、結果や更なる改善策を公表することにより、保護者や区民からの信頼を高めます。

校長の裁量権を拡大し、各学校が学校教育ビジョンの具現化に向けて、より創意工夫して積極的に取り組めるようにします。

区内小・中学校全校で実施(小学校23校、中学校10校)

【問合せ先】

教育委員会事務局 指導室長

田淵 貢造

内線3380

## 平成20年度当初予算の主要事業

事業名 算数・数学大好き推進事業<新規>

予算額 2,076万円

### 【PRポイント】

小学校1・2年時の算数から、一人ひとりの子どもの状況に応じたきめ細かい指導を実施していきます。

算数・数学への興味関心を高め、確かな学力の定着を図ります。

### 【目的・内容】

小学校3年生以上で行われている習熟度別学習に加え、小学校1・2年時から、一人ひとりの子どもの状況に応じたきめ細かい指導を実施するため、児童数が30名以上の学級を対象とし、少人数による指導やティームティーチングによる指導を行い、算数・数学の大好きな子どもたちを育みます。

### 【効果】

算数、数学における、学力の差や、学習意欲の低下の原因となる授業でのつまづきをなくします。

児童30名以上の学級を対象に、担任のほかに1名の講師を配置することにより、学校が子どもたちの実態に即して、授業を創意工夫しながら柔軟に展開し、指導効果を上げることができます。

現在の習熟度別学習の実施状況

小学校：全校において算数を実施(3年生から)

中学校：全校において数学・英語を実施

【問合せ先】 教育委員会事務局 指導室長 田淵 貢造 内線3380

## 平成20年度当初予算の主要事業

事業名 幼児教育推進事業

予算額 1億4,027万円

### 【PRポイント】

区内初の幼保一元化施設である、汐入こども園を開設します。

全区立幼稚園における3歳児保育を実施します。

区立幼稚園の入園手数料を無料化します。

### 【目的・内容】

- ・ 幼稚園・保育園を一体化した幼保一元化施設として、区内ではじめてとなる「汐入こども園」を20年度に開設します。
- ・ 区立全幼稚園(8園)において3歳児保育を実施します。また、子育て世代の教育環境の充実を図るため、20年度から区立幼稚園における入園手数料を無料化します。

### 【効果】

汐入こども園の開設により、地域における子育て家庭に対する支援の充実を図るとともに、幼稚園及び保育園の双方の良さを取り入れた教育・保育を実現します。

幼児期の基本的な生活習慣や道徳性を育て、好奇心や探究心を養い、創造性を豊かにします。

生涯にわたる人間形成の基礎を培い、小学校の教育活動へ繋げるために重要な幼児教育を充実します。

【問合せ先】 教育委員会事務局 学務課長 三枝 直樹 内線 3330

## 平成20年度当初予算の主要事業

事業名 録音図書デジタル化推進事業<新規>

予算額 281万円

### 【PRポイント】

これまでのカセットテープによる録音図書から利便性・耐久性に優れた  
デージー図書(CDによる録音図書)に順次切り替えます。

ボランティアによるデージー図書の録音・製作、障がい者の方への専用  
再生機の貸出しを行い、障がい者サービスの充実を図ります。

### 【目的・内容】

今後、主流となるデージー図書の購入、音訳ボランティアによる録音・製作、障  
がい者の方への専用の再生機(プレクストーク)の貸出しを行います。

### 【効果】

現在、デージー図書利用者が増加しており、これまでは、都立図書館等  
から借受けることで対応してきましたが、区においてもデージー図書の購入  
や録音・製作を実施することにより、区民のリクエストに応えることが可能と  
なります。

これまでのカセットテープによる録音図書では、テープの入れ替えや、  
聞きたい場所になかなか辿りつけないなど特有の不便さがありましたが、  
テープをデージー化にすることで、これらが解消され利用者の利便性が  
向上します。

【問合せ先】 教育委員会事務局 南千住図書館長 北村 美紀子 内線 436

## 平成20年度当初予算の主要事業

事業名 経営革新等支援事業

予算額 3,343万円

### 【PRポイント】

中小企業新事業活動促進法の「経営革新計画」に取り組む区内中小企業に対して、その策定から実施に係る資金面まで、総合的に支援します。

計画の承認を受けた企業に対する「新製品・新技術の開発」「見本市等への出展」「産業財産権取得」等に係る経費の助成割合及び「中小企業融資」を拡充します。

### 【目的・内容】

区は、新製品・新技術の開発、見本市等への出展、ISO認証取得、産業財産権取得、マーケティング調査等に取り組む区内企業に対して支援を行っています。

20年度は、中小企業新事業活動促進法の「経営革新計画」に取り組む区内中小企業に対して計画の策定支援（注）を行うとともに、法に基づく「経営革新計画」の承認を受けた企業に対しては、経費の助成割合を拡充します。

また、新たに「経営革新計画」に関する事業を融資対象として追加するなど、資金面の支援を行います。

#### 拡充内容

補助率:対象経費の1/2(現行) 2/3に拡充

限度額:現行の1.5倍に拡充(例:新製品・新技術開発 200万円 300万円)

#### (注): 計画の策定支援

「経営革新計画」に対する関心を高めるため、18年度から区内企業を対象に「経営革新セミナー」を開催しています。

区内企業の「経営革新計画」の策定・承認に向けた取組みを支援するため、「あらかわ経営塾」（17年度創設）において、企業の状況に応じ、個別指導を含めたきめ細かな指導を行っています。

計画の都知事承認：18年度3社

### 【効果】

荒川区の中小企業の経営革新を促進します。

【問合せ先】 産業経済部 経営支援課長 石原 久 内線 455



# 平成20年度当初予算の主要事業

事業名 モノづくりクラスター形成促進事業

予算額 2,264万円

## 【PRポイント】

大企業・中堅企業と連携して新製品・新技術を開発する、先導的プロジェクトの第二弾を構築します。

若手経営者・後継者の会を組織し、未来の荒川区を担う経営者の顔の見えるネットワークを構築します。

MACCコーディネータを1名増員して2名体制とし、戦略的な産学連携、企業間連携を一層推進します。

## 【目的・内容】

「産学官の顔の見えるネットワーク」構築を軸とした「荒川版クラスター」の形成を目指す「荒川区モノづくりクラスター(MACC:マック)プロジェクト」を推進することにより、「新事業、ベンチャー企業の創出」、「既存企業の第二創業や経営革新」の促進を図ります。

20年度は、第二弾の先導的プロジェクトの構築、若手経営者・後継者の育成、MACCコーディネータの充実などを新たに実施します。

## 【効果】

区内製造業の大多数を占める中間財・部材・材料を製造する事業所が、大企業・中堅企業と連携することにより、新製品・新技術開発に結びつきます。

荒川区の次世代を担う若手経営者・後継者が、ネットワークやセミナーを通じて、経営や技術に関するスキルアップを図ることができます。

意欲的な企業の取組みに対する、きめ細かく、充実した支援や、戦略的な産学連携、企業間連携のコーディネートが実現します。

### <進む先導的プロジェクトの第一弾>

先導的プロジェクトとして、首都大学東京健康福祉学部、産業技術高等専門学校と連携して「高齢者向け健康・福祉関連製品開発プロジェクト」を推進しています。このプロジェクトの中で産学連携による新製品(エクササイズスリッパ、リハビリ用治療ベルト等)が次々と生み出されています。

【問合せ先】 産業経済部 経営支援課長 石原 久 内線 455

## 平成20年度当初予算の主要事業

事業名 商店街ルネッサンス推進事業

予算額 3,503万円

### 【PRポイント】

区内商店街の活力を取り戻し、その復興を図るため、商店街に対する支援内容の充実を図ります。

商店街への応援歌である荒川区商店街の歌「しあわせ通り」の普及を図ります。

### 【目的・内容】

区長自らが本部長を務める「商店街ルネッサンス推進本部」において方針を決定し、全庁をあげて商店街振興に取り組みます。20年度は次の新規事業を立ち上げ、内容の充実を図ります。

商人(あきんど)塾の開催

空き店舗活用策及び個店の魅力向上策をさらに推進するとともに、区内の商業者が経営力を身につけ、今後の商店街活動の実践等について学びます。

商店街連携支援

複数の商店街が連携して行うイベント及び活性化策に対して助成を行います。

「しあわせ通り」の普及促進

荒川区商店街の歌「しあわせ通り」の普及促進を図ります。

### 【効果】

商店街の活性化や個店改善に対する商業者の意識を高め、また、今後の商店街を担う人材を育成することで、商店街を活性化することができます。

商店街の連携を促進することで、商店街活動の継続性と発展性を確保することができます。

区民の商店街に対する親しみと愛着心を高めることができます。

【問合せ先】 産業経済部 産業振興課長 高岡芳行 内線 445

## 平成20年度当初予算の主要事業

事業名 公衆浴場ガス化対策設備改善補助事業<新規>

予算額 875万円

### 【PRポイント】

原油価格高騰に伴う公衆浴場経営の安定化を図るとともに、クリーンエネルギー化を促進するため、燃料を都市ガス等に転換する公衆浴場に対し、設備改善に要する経費の一部を助成します。

### 【目的・内容】

原油価格の高騰を踏まえ、公衆浴場の経営の安定化を図るとともに、クリーンエネルギー化対策として、主たる使用燃料を重油等から都市ガス等に転換する浴場に対し、設備改善に要する経費の一部を助成します。

### 【効果】

環境に配慮したクリーンエネルギー化を促進します。

原油価格の高騰の結果、燃料コストが都市ガスより重油の方が高くなっている状況のため、ガス化への転換が経営支援につながります。

ガス化に転換することにより「スイッチ一つで点火できる」などの利点から、重労働から解放され、高齢になっている経営者や後継者にとっても事業の継続を図る効果が期待できるため、転廃業防止にもつながります。

【問合せ先】 産業経済部 産業振興課長 高岡 芳行 内線 445

## 平成20年度当初予算の主要事業

事業名 消費者相談事業(弁護士による多重債務者相談等)

予算額 661万円

### 【PRポイント】

新たに弁護士による多重債務特別相談を実施し、深刻化する多重債務問題の迅速な解決を図ります。

### 【目的・内容】

区は区民等の消費生活に関する相談に対し、情報提供や助言、あっ旋、他機関への紹介を行い、区民生活の安定・向上を図っています。

20年度は新たに、深刻化する多重債務者問題に対応するため、多重債務特別相談窓口を開設し、弁護士を配置(月2回)することにより、相談体制の整備・充実を図ります。

### 【効果】

区民にとって身近な消費者相談室において、弁護士による多重債務相談が受けられます。

時間を要する複雑な相談内容でも、通常の弁護士無料相談の枠を超えて弁護士相談を受けることができます。

消費生活相談員が受け付けた相談の中で法律相談を必要とする案件に対して、弁護士から専門的知見に基づくアドバイスを受けることができます。

【問合せ先】 産業経済部 産業振興課長 高岡 芳行 内線 445

## 平成20年度当初予算の主要事業

事業名 産業観光推進事業

予算額 956万円

### 【PRポイント】

伝統工芸技術職人、荒川マイスター等に代表される「モノづくり」を観光資源として位置づけ、産業を活かした観光振興を積極的に推進することにより、荒川区の魅力をアピールしていきます。

### 【目的・内容】

区の特徴の一つである伝統工芸技術職人、荒川マイスター等、モノづくり産業を活かした観光振興を推進します。そのために、集客施設での実演・展示・販売を行うとともに、作業所等を見学・体験できる場所に改修するための費用助成等を進めていきます。

### 【概要】

区内外の集客施設で、伝統工芸技術職人、荒川マイスター等の実演・展示・販売を行い、モノづくりのまち荒川区をアピールしていきます。

作業所(工場)、店舗等を改修し、来訪者を対象としたモノづくり現場の公開、モノづくりを体験できる場所の設置を行う事業者等に対して、その費用の一部を助成します。

区内において、モノづくりを見学・体験できる場所等の情報を紹介するパンフレットを作成します。

【問合せ先】 産業経済部 観光振興課長 伊澤 敦 内線 460

## 平成20年度当初予算の主要事業

事業名 都電沿線ウォークラリーの開催

予算額

83万円

### 【PRポイント】

都電荒川線沿線の魅力をアピールし、多くの人々に実感してもらうために、北区と共同で、「都電沿線ウォークラリー」を開催します。

### 【目的・内容】

荒川区の観光資源である都電荒川線を活用し、区外からの観光客を呼び込むために、北区との共同で沿線のウォークラリーを実施します。

### 【概要】

観光客(参加者)に、都電に乗って沿線を巡り、観光スポットや商店街を散策してもらいながら、まちの魅力や地域の人々とのふれあいを楽しんでもらいます。

沿線商店街(参加者に対する商品の割引、休憩場所・茶菓の提供等)、都交通局(受付場所の提供、交通局の媒体によるPR等)の協力を受けて、開催します。

### 【効果】

区外からの観光客を呼び込むことにより、地域の活性化と産業振興、観光振興に結び付けていくことができます。

【問合せ先】

産業経済部 観光振興課長

伊澤 敦

内線 460

# 平成20年度当初予算の主要事業

事業名 環境交通政策推進事業

予算額 1,334万円

## 【PRポイント】

人・地域・地球にやさしい「環境交通のまち・あらかわ」を実現します。

運輸部門におけるCO<sub>2</sub>排出量対前年度比1%削減に向けて、モビリティマネジメントやカーシェアリング、エコドライブなどの施策に取り組みます。

重点地域を中心に荒川区で実現していく環境交通目標

- ・かしこいクルマの使い方によるCO<sub>2</sub>の削減
- ・地域交通への再生可能エネルギー導入
- ・駅まで気軽に行けて楽に乗り継げる公共交通
- ・歩いて楽しい魅力的な街区の創出
- ・地域の活性化と賑わいの醸成
- ・区民参加による環境交通まちづくりの推進

## 【目的・内容】

将来にわたって持続可能な「環境交通<sup>(1)</sup>のまち・あらかわ」の実現に向けて、公共交通の更なる利用促進を図り、自動車に過度に依存しない事業活動やライフスタイルへ移行することにより、CO<sub>2</sub>の排出を抑制する環境交通に関する施策や交通行動調査、普及啓発イベントなどを実施します。

## 【20年度の取り組み】

モビリティマネジメント<sup>(2)</sup>の実施  
カーシェアリング<sup>(3)</sup>の導入支援  
エコドライブの促進  
魅力ある道路利用  
(環境交通イベントの開催)

コミュニティバスの新ルート導入  
低燃費・低公害車の導入促進  
鉄道の新ルート運行  
(日暮里・舎人ライナー)  
駅のバリアフリー化・駅前整備

1 環境交通とは、日常生活での移動手段を環境の側面から見直し、「歩いて楽しいまちづくりを進め、公共交通の利用を促進して、クルマに頼り過ぎない暮らしをすることで、CO<sub>2</sub>の削減や、区民の健康づくり、ひいては、まちの賑わいにもつなげよう！」という政策のことです。

2 モビリティマネジメント...ひとり1人のモビリティ(移動)が、社会的にも個人的にも望ましい方向に自発的に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした交通政策

3 カーシェアリング...1台のクルマを10~30人の会員で共同利用する仕組み

【問合せ先】 環境清掃部 環境課長代理 山本吉毅 内線 486

## 平成20年度当初予算の主要事業

事業名 (仮称)エコセンター建設

予算額 2億1,978万円

### 【PRポイント】

旧保健所施設を改修し、地域にも地球にもやさしい具体的な行動を起こす拠点施設、「(仮称)エコセンター」をつくります。

### 【目的・内容】

環境先進都市あらかわを目指して、環境学習の場の提供とリサイクル等の環境政策を総合的に推進するため、区民等の環境活動の拠点となる(仮称)エコセンターを設置します。

21年2月開設予定。

### 【主な機能】(20年度開設分)

環境実習室  
情報提供コーナー  
会議室、事務室等

### 【主な環境配慮設備】

屋上緑化  
壁面緑化(緑化タイル)  
太陽光発電  
太陽熱給湯  
雨水利用  
緑化駐車場  
断熱サッシ、複層ガラス

旧保健所 2・3階部分を活用 1206.85㎡

【問合せ先】 環境清掃部 環境課長代理 山本吉毅 内線 486



## 平成20年度当初予算の主要事業

事業名 街なかぴかぴかトイレ

予算額 1億3,124万円

### 【PRポイント】

従来の公衆、公園トイレの汚い、臭いなどのイメージを一新し、街の品格を高めます。

清掃回数を1日2回実施のトイレは4回、1日1回実施のトイレは2回に増やし、清潔感のあるトイレにします。

トイレットペーパー、清掃用具等を配備します。

### 【目的・内容】

荒川公園及び荒川遊園のトイレのリニューアルします。また、街なかに設置した公衆・公園トイレの清掃回数を増やし、トイレットペーパーや清掃用具などを置くことで清潔で美しい街づくりを進めます。

### 【効果】

荒川公園南トイレと荒川遊園C地区トイレをリニューアルし、各園利用者など誰もが快適に利用できるようになります。

清掃回数が倍増するため、きれいなトイレを提供できます。

トイレットペーパーを常設することにより、利用者サービスの向上及びポケットティッシュなどのごみや排水管の詰まりを解消します。

清掃用具を各個室に置き、利用者マナーの向上を図ります。

【問合せ先】

土木部 公園緑地課長

山崎喜太郎

内線 2750

## 平成20年度当初予算の主要事業

事業名 (仮称)吉村昭記念文学館の設置

予算額 1,986万円

### 【PRポイント】

吉村昭氏を記念する文学館を整備し、区民が広く文学に親しむ契機を提供し、荒川区における文化の拠点とします。

文学館では、作家・吉村昭氏の人物像や経歴の紹介に加え、その「作品」を中心に据えた企画展示を行い、記録文学や歴史小説、さらには短編小説など、多岐にわたる吉村氏の文学世界を紹介します。

### 【目的・内容】

荒川区区民栄誉賞のほか、数々の文学賞を受賞し、荒川区の名を高めた文学者である吉村昭氏の足跡を記した資料を収集・保存・展示する文学館を設置します。

20年度は、文学館設置に向けて基本計画を策定するとともに吉村昭氏を記念する事業を開催します。

### 【効果】

吉村昭氏の文学世界や足跡について、広く区民を始め多くの人に伝える拠点とします。

吉村昭氏が生み出した記録小説、歴史小説等について、調査研究を深め、情報提供の機能を果たすことができます。

吉村昭氏を記念するイベントや企画展などを行うことにより、区民の文学への関心を高めるとともに、荒川区における文化の醸成に寄与します。

吉村昭記念文学館を設置することで、周辺地域における池波正太郎記念文庫や一葉記念館、鷗外記念室、朝倉彫塑館などとの文化的ネットワーク作りに寄与することができます。

【問合せ先】 教育委員会事務局 社会教育課長 阿部忠資 内線 3350

## 平成20年度当初予算の主要事業

事業名 地域コミュニティ活性化の支援

予算額 2,187万円

### 【PRポイント】

町会・自治会を紹介するパンフレットの配布や町会・自治会役員とマンション居住者とが一堂に会する懇談会を実施します。

町会・自治会が実施する地域住民対象のイベントや町会・自治会掲示板の建替えを支援し、町会活動を積極的に周知することで、町会・自治会への加入率向上につなげます。

町会・自治会に対する区民の意識や町会・自治会での加入促進の成功例、町会・自治会の歴史などについての調査を進めます。

### 【目的・内容】

- ・ 心豊かで活力に満ちた地域コミュニティを形成するため、町会・自治会の活動を積極的にPRするとともに、新たに区民となる人が町会・自治会の活動に円滑に参加できるよう、懇談会等を開催します。
- ・ 町会・自治会の新規会員加入促進に向け、町会・自治会が主催するイベントに対して助成を行うとともに、町会・自治会掲示板の建替え助成等を行います。
- ・ 町会・自治会に関する区民の意識や町会・自治会での加入促進の成功例について、全区的な調査を実施するほか、町会・自治会の歴史などについての基礎調査に着手します。

### 【効果】

町会・自治会と未加入者との接点の増加  
町会・自治会加入率の向上による地域コミュニティの活性化

### 【参考】

町会・自治会イベント助成 上限10万円／町会・自治会  
町会・自治会掲示板建替え助成 上限 5万円／箇所

### 【問合せ先】

区民生活部 地域振興課長 大関英広 内線 2530  
区民生活部 区民課長 五味智子 内線 2510

## 平成20年度当初予算の主要事業

事業名 スクール安全ステーション<新規>

予算額 2,716万円

### 【PRポイント】

小学校の校門付近にスクール安全ステーションを設置し、学校や地域の防犯力を高めることにより、児童に対する犯罪を抑止します。

### 【目的・内容】

スクール安全ステーションを設置し、児童安全推進員・安全パトロール員・学校安全ボランティアの詰め所として、また活動拠点として活用することで、児童安全対策の一層の充実を図ります。

20年度はモデルとして5校に設置します。

### 【効果】

防犯カメラとの併用により、学校への外部からの来校者をチェックし、従来から進めている児童在校時の児童安全対策を充実させます。

児童の下校時の安全を確保する学校安全パトロールやボランティアの活動拠点とします。

地域にとって身近な公共施設である学校にスクール安全ステーションを設置することにより、地域で子どもを見守る機運を盛り上げます。

【問合せ先】

教育委員会事務局

庶務課長  
教育施設課長

谷嶋 弘  
伊藤 勝弘

内線 3310  
内線 3320

## 平成20年度当初予算の主要事業

事業名 木造住宅耐震化推進事業

予算額 6,045万円

### 【PRポイント】

無料簡易耐震診断・耐震補強工事に加え、耐震補強設計に対しても新たに費用の一部を補助します。

防災上危険度の高い地域などにおいては、建替えを行った場合にも、新たに費用の一部を補助します。

高齢者や障がい者のいる世帯に対し、耐震シェルターや防災ベッドを設置した際の費用の一部を新たに補助します。

### 【目的・内容】

密集した市街地にある木造住宅のうち、大規模地震による倒壊等の危険な状況にある建物について、耐震診断に基づき耐震補強工事、耐震建替工事等を行う区民を支援することにより、建物の耐震性等の向上を推進し、大規模地震による建物倒壊等から区民の生命と財産を守ります。

### 【概要】

#### 《現行》

昭和56年5月31日以前に建築確認を得て建築した戸建木造住宅に対し、耐震診断士を無料で派遣し、簡易耐震診断を行っています。

耐震補強工事に対し、費用の3分の2を100万円を限度として補助しています。

#### 《新規》

耐震補強設計に対し、費用の3分の2、30万円を限度として補助します。

防災上危険度の高い地域などでの耐震建替工事に対し、150万円を補助します。

耐震シェルターや防災ベッド設置工事に対し、費用の3分の2、30万円を限度として補助します。

老朽戸建木造住宅に対し、戸別訪問による耐震化普及啓発活動を実施します。

### 【効果】

大規模地震による建物の倒壊等から、区民の生命と財産を守ることができます。建物の倒壊等による道路の閉塞を防止できるため、避難、消火及び救助活動を円滑に行うことができます。

大規模地震に対する防災意識が高まります。

【問合せ先】 都市整備部 住環境整備課長 中山 淳一 内線 2820

## 平成20年度当初予算の主要事業

事業名 コミュニティバス路線拡大事業

予算額 4,330万円

### 【PRポイント】

民間事業者による汐入地区へのコミュニティバスの路線拡大を支援します。

区内の他地域についてもコミュニティバスの導入可能性について検討します。

### 【目的・内容】

民間事業者によるコミュニティバスの汐入地区への路線拡大の支援を行うほか、他地域における新たなルートの可能性について検討します。

### 【効果】

区内の交通利便性の向上

高齢者及び障がい者の交通移動手段の確保

自家用車使用の抑制

放置自転車の抑制

### 【支援内容】

車両購入経費の3分の1を補助

バス停留所整備工事

【問合せ先】 都市整備部 交通担当課長 齋藤 栄志 内線 2860



